

●人事行政の運営等の状況

(4) 職員の初任給の状況 (平成 18 年 4 月 1 日現在)

区分	採用2年経過日給料額
一般行政職 大学卒	170,200 円
一般行政職 高校卒	138,400 円

(5) 職員の経験年数別、学歴別平均給料月額

区分	経験年数		
	10年以上 15年未満	15年以上 20年未満	20年以上 25年未満
一般行政職 大学卒	263,900 円	336,200 円	371,700 円
一般行政職 高校卒	222,100 円	272,700 円	300,400 円

注) 経験年数は、卒業後直ちに採用され引き続き勤務している場合の、採用後の年数をいいます。

(6) 一般行政職の等級別職員数の状況 (総務省：給与実態調査)

区分	1級	2級	3級	4級	5級	6級	7級	計
標準的な職務内容	主事技師	主事技師	主任	副主幹主査	課長補佐	参事課長主幹	部長理事次長	
職員数	22 人	19 人	21 人	30 人	17 人	32 人	6 人	147 人
構成比	15.0%	12.9%	14.3%	20.4%	11.5%	21.8%	4.1%	100%

注1. 市の職員の給与に関する条例に基づく給料表の等級区分による職員数です。
2. 標準的な職務内容とは、それぞれの等級に該当する代表的な職名です。

(7) 職員手当の状況

区分	滑川市			国		
	18年度支給	18年度支給	18年度支給	18年度支給	18年度支給	18年度支給
期末手当	6月期	1.40月分	0.725月分	6月期	1.40月分	0.725月分
勤勉手当	12月期	1.60月分	0.725月分	12月期	1.60月分	0.725月分
	計	3.00月分	1.450月分	計	3.00月分	1.450月分
	職制上の段階、職務の等級による加算措置			職制上の段階、職務の等級による加算措置		
退職手当	(支給率)	自己都合	勤続20年	23.50月分	30.55月分	30.55月分
		自己都合	勤続25年	33.50月分	41.34月分	41.34月分
		自己都合	勤続35年	47.50月分	59.28月分	59.28月分
		自己都合	最高限度額	59.28月分	59.28月分	59.28月分

区分	全職種
職員全体に占める手当支給職員の割合	19.3%
支給職員1人当たり平均支給年額	27,410 円
手当の種類(手当数)	6
手当の名称	市税等賦課徴収事務 救急傷病者搬送業務 深夜消防業務 感染症防疫業務 行旅病死人の取扱業務 用地交渉業務

※特殊勤務手当とは、著しく危険、不快、不健康または困難な勤務その他著しく特殊な勤務に支給する手当です。

区分	支給総額	職員1人当たり支給年額
17年度	51,703 千円	265,144 円
16年度	51,124 千円	240,018 円

(平成 18 年 4 月 1 日現在)

区分	内容	金額
扶養手当	配偶者	13,000 円/月
	扶養親族 (2人まで)	6,000 円/月・人
	扶養親族 (扶養親族でない配偶者ある場合の1人目)	6,500 円/月
	扶養親族 (配偶者なしの場合の1人目)	11,000 円/月
住居手当	借家等 (最高支給限度額)	~ 27,000 円/月
	持家居住者 (世帯主)	2,500 円/月
通勤手当	交通機関利用者は運賃相当額 (支給最高限度額)	~ 55,000 円/月
	交通用具使用者は使用距離に応じ	2,600 円~ 35,000 円/月

注) 扶養・住居手当は国と同じであり、通勤手当は県と同じです。

平成 18 年度滑川市人事行政の運営等の状況の公表について

滑川市人事行政の運営等の状況の公表に関する条例 (平成 17 年滑川市条例第 1 号) 第 6 条の規定に基づき、平成 17 年度における滑川市人事行政の運営等の状況について、次のとおりお知らせします。

1 職員の任免および職員数に関する状況

(1) 職員の採用および退職の状況 (平成 17 年度)

採用					退職				
一般行政事務 (競争試験)	保健師 (競争試験)	社会福祉士 (競争試験)	水道局労務職員 (競争試験)	採用計	定年退職	勤奨退職	自己都合退職	その他 (死亡、免職、失職)	退職計
1 ()	2 (2)	1 (1)	1 ()	5 (3)	()	()	3 (1)	()	3 (1)

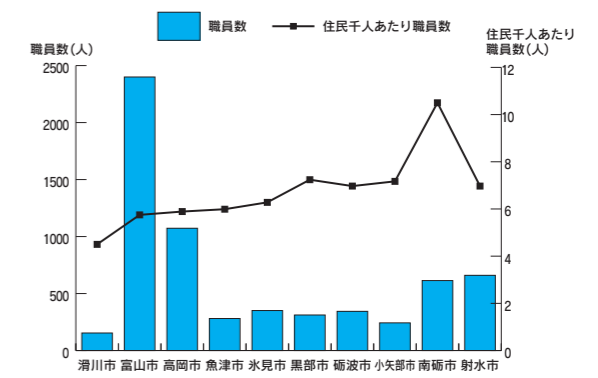
※ () 内は女性数であり、内書きです。

(2) 部門別職員数の状況 (総務省：定員管理調査)

区分	部門	一般行政部門								特別行政部門			公営企業等会計部門			合計		
		議会	総務	税務	民生	衛生	農水	商工	土木	小計	教育	消防	小計	水道	下水道		その他	小計
職員数	H17	4	46	15	35	10	11	7	24	152	40	34	74	7	9	14	30	256
	H18	4	46	14	36	10	12	6	26	154	36	34	70	7	9	18	34	258
対前年増減数		0	0	△1	1	0	1	△1	2	2	△4	0	△4	0	0	4	1	2

※平成 18 年 4 月 1 日現在の職員数は介護保険制度改正に伴い新たに設置された「地域包括支援センター」に必置の保険専門職員 3 人の増員を含むものです。
(参考) 県内の他市と比較した職員数 (一般行政部門) (平成 18 年 4 月 1 日現在)

	職員数	住民基本台帳人口	住民千人あたり職員数
滑川市	154	34,204	4.50
富山市	2,400	417,247	5.75
高岡市	1,073	182,284	5.89
魚津市	281	46,949	5.99
氷見市	351	55,934	6.28
黒部市	312	43,096	7.24
砺波市	344	49,328	6.97
小矢部市	243	33,891	7.17
南砺市	614	58,457	10.50
射水市	637	94,730	6.72



2 職員の給与の状況

(1) 人件費の状況 (普通会計決算)

区分	住民基本台帳人口 (年度末)	歳出額 A	実質収支	人件費 B	人件費比率 (B/A)	参考 16 年度人件費比率
17 年度	H18.3.31 34,204 人	千円 12,191,815	千円 659,634	千円 2,010,591	% 16.5	% 16.7

注1. 普通会計とは、水道事業会計 (企業会計) などを除く市事業全般を行うための会計をいいます。
2. 人件費には、一般職員に支給される給与のほか、退職手当組合負担金・共済費および市長・議員などの特別職に支給される給料、報酬などを含みます。

(2) 職員給与費の状況 (普通会計予算)

区分	職員数 A	給与費			1人当たり給与費 (B/A)	その他職員手当	共済費	
		給料	職員手当	期末・勤勉手当				
18 年度	223 人	897,816	122,637	362,099	1,382,552	6,200	195,777	227,089

注) その他の職員手当には、退職手当組合負担金および職務の特殊性により特定の職員に支給される手当 (特殊勤務手当、夜勤手当など) を計上しています。

(3) 職員の平均給料月額および平均年齢の状況

区分	平均給料月額	平均給与月額	平均年齢
一般行政職	338,500 円	380,740 円	43.3 歳
技能労務職	277,500 円	295,900 円	50.6 歳

注) 平均給与月額は、平均給料月額に扶養手当、通勤手当などの諸手当を加えたものです。

